

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成27年11月10日（火）

午後 1時30分 開会

午後 3時13分 閉会

場所 : 全員協議会室

[報告案件]

1 3か年実施計画について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

石川英之議員：説明にはありませんでした33ページの上段、アイプラザ半田改修事業について伺いをさせていただきます。現在、半田病院の建替えが場所も含めて検討されている中で、個人的な考え方で言ったら、職員駐車場に建てる。場所が狭いという話もありますのでアイプラザも壊して、そこに建てるのがいいなと思っていたのですが、まだ場所も選定している最中だと思うのですが、今回37年も経つアイプラザをあえて6億5,000万もかけて改修するのは、病院も職員駐車場では狭いという理由づけのために、わざわざ改修するのか。本来40年近く経っていれば、建替えという話が出てもおかしくはないと思うのですが。その辺りをどう捉えればいいのかお聞かせ願いたいと思います。

榊原純夫市長：ご指摘の点も踏まえましたが、仮に半田病院を職員駐車場のところに建設するにしても、現在のアイプラザを残したまま建替える可能性もありますので、現状のままアイプラザを放置することの方が、市民の皆様にとって好ましくないと判断させていただきまして、きちんと整備をして、使いながら今後の土地利用、場所等についても考えさせていただこうと思っています。以上のことからアイプラザもきちんと手当てをすべきだと判断させていただきました。

石川英之議員：それについては、わかりました。37年経っているアイプラザを6億5,000万かけて、何年持たせるつもりなのでしょうか。40年近く経っていれば、新しく建替えの検討し始めた方が。危険だというのであれば、半田市には雁宿ホールもありますので、数年間使わせないようにするという手だても打てると思うのですが。今後、何年計画でいくらかけて何年持たせるのかという計画があるならお聞かせください。

榊原純夫市長：今後、取りまとめさせていただき公共事業の長寿命化計画の中にも当然盛り込みますが、少なくともあと10年は持たせなければならないと思っています。場合によってはもっと利活用する価値があると思いますし、ホールの大きさから言っても雁宿ホールが1,300席あるのに比べ、590席くらいで非常に使い勝手がいいという声もありますし、そのわりに、舞台に反響板がなかったり、様々な不便もおかけいたしておりますので、新築をするよりは低いコストで利活用できると判断させていただきました。

新美保博議員：関連でお聞きします。先ほど10年という言葉が出ましたが、10年くらい持たせておきたいという希望だと思います。病院建設が駐車場ではできないからよそへ行くなんてことは、アイプラザを10年使いたいからという理由にならないでしょうねと確実にしておきたい。

榊原純夫市長：ご承知の通り、今後の病院のあり方検討会議というのが立ち上がっておりますが、私としてはそういうことはないと思っております。今、新美議員のご指摘の点はないというように思っております。

新美保博議員：聞きたいことがたくさんあるが、確認だけ1点しておきたい。32ページの赤レンガ建物の土地を一部返すという、年間7,000万いただいておるのが、当然減る話だと思うが、どの程度のものを返して、どの程度貸して、どの程度のものが入ってくるのか、教えていただけるか。

笠井厚伸市民経済部長：歳入としては7,000万から5,500万ほどに減ることになります。来年度予定しております工事の内容であります。駐車場の整備と場内通路の整備と、転回ができるロータリーの設置を行います。また、トイレの設置等を行いまして、合計で約1億3,000万ほどの予算の予定をしております。約5,000㎡になります。ちょうど、赤レンガの入り口付近。国道から赤レンガに入る取り付けの部分になります。児童遊園がございますので、その間となります。また、通路部分の改修も含めて5,000㎡ということですね。約4,300㎡になります。

新美保博議員：今7,000万で貸している㎡数がどれだけで、次に5,500万だったらどうなるのかその変更部分が聞きたい。

笠井厚伸市民経済部長：今手もとに資料がございますので、貸し付けている全体の㎡数はまた改めてお答えさせていただきます。

加藤美幸議員：72ページの公園整備改修事業のところで、平成30年度に半田池埋め立て用地に新規公園を整備するとございますが、半田池を新美南吉の「おじいさんのランプ」でも有名な半田池を埋め立てにして、それを止められずに新規公園を作るということで、半田池の利用の目的はどういうことですか。

榊原康仁建設部長：半田池の利用の目的は、加藤議員が仰られるように新美南吉の童話に出てくる「おじいさんのランプ」の場所でありますので、今回の埋め立てで、その地が全くなくなるということではなく、新美南吉のゆかりがありましたということで広場を整備致しまして、ゆかりの地が分かるような案内板なども整備して残して、利用してもらおうということです。池については、水面を埋めるということで、愛知県から指導がありまして、評価基準があり、阿久比川から来る水路も水面として残りますし、公園の北側には小さくはなりますが池も残りますので、池と公園と一体になった部分が少し残りますのでよろしくお願い致します。

中川健一議員：78ページの小中学校関係のところですが、市長は山田清一議員の一般質問に対する答弁で、エアコンの設置を小中学校で進めていくという話があったと思いますが、まだ今回の3カ年計画には全く出ていませんが、その辺の目処というのは考えているのか、現状では全く目処が立たないものなのか、その辺はどんな状況でこのレポートになっているのでしょうか。

榊原純夫市長：山田議員のご質問にもお答えしたと思っておりますが、まずは夏休みの無い保育園から先にやっていくということで、小中学校については今後計画的に設置してまいりたいと思っております。現在ではまだ具体的な年度まではお示しすることができませんが、近々将来計画を作ってお示しさせていただけると思っております。

中川健一議員：早めをお願いします。あともう一つですが、43 ページの畜産臭気監視事業なのですが、依然として問題の大きさに比べると予算額が大幅に増えずに続くわけなのですが、企画部にお聞きしたいと思いますが、このような予算額で十分問題に対処できると思ってこういう査定額に当然したのかなと思います。がそういう考えでよろしいでしょうか。

堀寄敬雄企画部長：3 カ年実施計画につきましては、数字については担当事業部局がこういった数字の提示がありますので、その数字の精査をさせていただく中で決まった数字であります。

中川健一議員：要するに精査する中で、半田市全体の観点で見て、事の重大さを考えたら、こんな予算額で半田市の大問題である臭気対策を改善できるのかという問いは当然あったのではないかなと思うのですが。そういう議論を踏まえてでも、この少額の予算にしかならなかったという理解でいいのでしょうか。

堀寄敬雄企画部長：これは、畜産臭気の監視側の事業、環境側の事業で、今中川議員が仰るとするのであれば、それは経済課の方がやっておる臭いを消すための消臭資材などの投入の事業の方の事業費になろうかと思いますが、そちらについても直ちに効果的な資材があるわけではないということで。35 ページの上段畜産環境対策推進事業というのが消臭剤をまく事業です。事業の中身をよく理解してご質問いただければと思います。

中川健一議員：中身を理解していったほしいというのは、どういう意味でしょうか。

堀寄敬雄企画部長：臭いを無くするための方策としては、35 ページにあります消臭剤を投入する事業の側で消臭を図っております。先ほどご指摘のあった事業というのは、そのための臭気がどのような変化をしたかという監視する側の事業をご説明しました。

中川健一議員：どちらにしても、私も両方のことがあった上で聞いておりますので、大変失礼な発言ではなかったのかなと、企画部長の答弁に対して非常に問題があるのではないかと私は思うのですが。市長はこのような教育を部長たちにしているのかと聞きたくなる。何れにしても、消臭対策も監視のお金を含めても、非常に少額なわけですね。こんな少額な予算でも、現状の半田市の畜産臭気対策は十分に対応できると考えてこういう査定額だったということではよかったでしょうか。

藤本哲史副市長：もう一度簡単にご説明致しますと、先ほどの 43 ページの畜産臭気監視事業は、牧場から出る臭気の測定つまり、監視をどう効率的にやっていくかという予算であります。35 ページ今申し上げているように、糞尿の臭気を低減するような消臭剤をどう効果的に使っていくか。私ども半田市にとって長年重要な課題であり、この消臭効果を高める資材の開発と、それが本当に効くのかという実証を現在進めています。今年、本来ならば実証を確認して、効果があるものは来年度もっと予算をつけて牧場を広げていこうと考えておりましたが、今まだ実証効果がきちんと数値として出せない。もう少し重ねていかないと確認できないという段階でありますので、28 年度はこの金額でいき、28 年度に効果が出れば予算をしっかりとつけていきたいと思っております。今申し上げた畜産環境対策推進事業。ひとまずここで 5,000 万つけていますが、今申し上げた通り 27 年度は

効果を更に見ていく必要があるということで、実際に予算化するときには、もう少し落ちてきます。そこでさらに検証していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

中村宗雄議員：アイプラザのことで1点だけ確認させてください。37年も経っている建物に、6億もお金をかけるということで、普通民間だと35年超えるとそれ以降は金食い虫になっていくものですから、非常にその判断が難しいと思うのですが、6億5,000万もかけてあと10年は使うと仰られましたが、その10年の間にあといくらかお金がかかるのでしょうか。6億5,000万でもう終わりののか、また今から使う10年の間にあれもこれもとどんどんさらに10億くらいお金がいるのか。今からその見通しだけをお聞かせ願いたいと思います。先のことだからわからないと言われたらそこまでの話なのですが、普通民間はこの時期で引くのです。ここから金食い虫ですので。そのあたりの見通しを教えてください。

榊原純夫市長：金額が大きいのは、天井の改修が大きいからだとお聞きしていますし、この先10億もかかることは絶対ないと思っています。何れにしても、効率的に施設の維持管理運用していく為の措置でありますので、ご指摘の10億もかかってはあってはならないと思いますし、ありえないと思っております。

中村宗雄議員：今、いいお答えをいただいて安心したわけなんです、平成22年にアイプラザを県からいただいた時に、お金かかりませんよね。と議会でしたところ、耐震的にも問題ないし、いろいろな面で大丈夫だということ言われて、すぐ翌年ボイラーが壊れたといったことで、今回は空調もダメだということ。当時説明されたことと、5年経って様子が変わってきているのですが、今言われたことは大丈夫なのでしょうか。

榊原純夫市長：当時は県からそういう回答をいただいておりましたが、蓋を開けてみたら見えるところしか、県が直していただいてなかったものですから、ここ数年で直していますので、これ以上そう大きなものはないというように思っております。

山内悟議員：21ページ保育園給食調理等業務委託事業について、平成28、29年度についてはこの前の議会の債務負担行為で白山保育園だとわかっておりますが、平成30年までに3園というのはどこのことを言っているのか教えてください。

折戸富和健康子ども部長：平成30年につきましては、白山保育園、修農保育園、清城保育園、であります。

山内悟議員：平成29年度に修農保育園と清城保育園の定年退職者が出るということよろしいでしょうか。

折戸富和健康子ども部長：平成30年の4月から退職者があって1年、29年の末退職になります。

嶋崎昌弘議員：71ページ雁宿公園なのですが、6年かかっているが、29年度ですべてきれいに完成させて、市民に親しめる公園になるということよろしかったでしょうか。

榊原康仁建設部長：その通りであります。

嶋崎昌弘議員：そうすると、この年には半田球場もすべて完成されてということで

しょうか。半田球場は 29 年度にできるのかその辺りはどうなんですか。

榊原康仁建設部長：半田球場も 29 年度には完成して、30 年の 4 月からは使えます。

笠井厚伸市民経済部長：先ほどの赤レンガ建物の周辺土地保全事業に関するご質問でお答えしていなかった部分をお答えさせていただきます。現在、お貸ししている面積は、18,056.67 m²。お返しいただく面積が、3,171.35 m²。従いまして、来年度以降お貸しする面積は、14,885.32 m²となります。賃貸料であります、18,000 m²に対しましては 6,320 万円でございます。お返しをいただきますので、平成 28 年度からは、5,210 万円となります。

石川英之議員：畜産に関して教えてください。臭気監視事業については市が臭いを監視するということで納得できる話なんです、環境対策推進事業で毎年毎年、こういう対策はしていると思うのですが、他の業種であればこれは確実に公害であって、業者に例えば臭気や音にしろ、自己責任でやらせるようなことを畜産に関しては公費を投入して何年も何年もやっているのですが、そもそも畜産は半田市が第三セクターで立ち上げたものでもなければ、半田市が畜産をお願いして誰かにやってもらっているのでしょうか。

笠井厚伸市民経済部長：確かに、公害に関しましては発生源の方に責任がございますので、発生源者に負担をして対策をとっていただくのでありますけども、実は畜産臭気に関しましては、悪臭防止法という法律に基づいて規制をさせていただいております。悪臭防止法では、臭気指数とそれぞれ悪臭物質といわれる物質がございます、その濃度で規制をしております。畜産の場合は、複合臭という個別の悪臭物質では規制基準を越えない場合が多くございます。実際には、臭うが規制基準を越えていないという状況が多くの場合見られます。そういったことから、一般的には悪臭や騒音は感覚公害といわれるものでして、法律に明らかに違反している場合は事業者責任において対策をとっていただくことを指導しておりますが、そうでない苦情と言われる部分に関しては、行政指導あるいはこちらがお願いをしてやっていただくという形で進めておりますので、これまでの畜産臭気に関して、明らかな法律違反ではないもの悪臭に対する苦情が多いことから半田市でも支援をさせていただきながら対策をとっていただいているということです。

石川英之議員：途中までは話が聞けました。なぜ最後に半田市が支援をとなってしまうのか。要するにお願いしてやってもらっていたのは臭気対策をお願いしているんですよね。畜産をお願いしているわけではないですよね。なのに、なぜ公費を投入してまで、支援をするのでしょうか。僕は建築業界ですので、朝早くからやかましいと言われれば静かにしますし、隣で建築資材を燃やして臭いと言われ通報されれば消防に叱られますし、全部自己責任ではないですか。にもかかわらず、なぜ畜産業界だけ半田市が公費を投入する支援になってしまうのか。

笠井厚伸市民経済部長：非常に難しい話でございます。酪農家さんの経営規模・経営状況から考えまして、強力に臭気対策を考えていただこうと思うと、例えば畜舎の完全密閉化ですとかが必要になってきます。そういった場合に事業活動が成り立たなくなることがありますので、最低限、できる限りの努力は事業者さんにもお願いをしておりますが、それを超える（経営を圧迫するような）部分に関し

ては畜産振興という面からも、ある程度半田市の方でお手伝いをせざるを得ないと考えております。

石川英之議員：他の業種でもそういうことはあり得るのでしょうか。例えば、僕の建築屋がつぶれそうだからと言ったら支援してくれるのですか。してくれないですよね。なぜ畜産だけ保護されているのですか。

笠井厚伸市民経済部長：確かに個々の事業者単位では支援は致しませんが、例えば商店街振興のような形で、商店街に対してもこういった支援をさせていただいておりますし、市民生活に大きな影響を与えるものに関しては、市でも一定の支援をさせていただくものだと考えております。

加藤美幸議員：77 ページのいじめ不登校対策事業のところですが、事業の使い道のところで、適応指導教室を運営するとありますが、これは市が運営するマーキュリールームだけのことでしょうか。現実にはマーキュリールームに行けず、民間のフリースクールに通っておられる方も見えますが、民間の事業に対する支援はされる予定でしょうか。

小坂和正教育部長：こちらに記載のあるものは、市が直接行っておりますマーキュリールームの支援の状況です。ここには、民間のフリースクール等への支援は含まれていない状況です。ただ、いろんな形でアイプラザにある伸ばす会だとかそういうところとも協力しながら不登校の子が少しでもいなくなるように協力して対策は取っていく予定でいますし、そうしています。

加藤美幸議員：協力というのは、例えば金銭的な援助とかではなく、コミュニケーションや相談・連携だけでしょうか。金銭的な支援はないということでしょうか。

小坂和正教育部長：直接金銭による支援等はないのですが、どこかの施設を使用するときに、理由が立つならば減免をする等、その方向での支援をしています。

山本佳代子議員：いじめ・不登校対策事業についてお聞きします。小中学校にスクールカウンセラーと心の教室相談員をとということですが、増員されるということでしょうか。

渡辺昭司議長：3カ年の予算の内容でこうなっているということですから、今後予算の説明会、委員会等もありますので、それを踏まえた上での質疑に絞っていただければと思います。取りあえず今の質問だけ簡潔にお願いできればと思います。

小坂和正教育部長：3カ年では、28、29、30年と同じ金額ですので、この3年でスクールカウンセラーなどを増員するなどの計画ではないという状況です。ただ、27年度に比べれば28年度に増額しておりますので、スクールカウンセラーは1人増員ということで予定しています。

2 半田市人口ビジョン及び半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

中川健一議員：この戦略の中で、概要版の基本目標④「安全で快適な環境のもとで安心して暮らせる「まち」をつくる」と一般的な目標だと思うのですが、この3つ目のところに、「文化の継承と新たな文化の創造を推進します」というのがあります。文化の継承は十分理解できるのですが、新たな文化の創造を推進するということで、すごく大変な作業と思いますが、例えばこのようなことについては

どのようなことを言っているのか。今回の3カ年の予算で何か反映されているようなことがあるのかについて教えていただければと思います。新たな文化を推進するということですね。継承はいろいろあるのでわかっています。

堀寄敬雄企画部長：今回の3カ年の事業で代表的なところを申し上げますと、例えば重要文化財である旧中埜家住宅の保存管理事業、活用をしていくこと。また音楽文化振興事業としまして、提携を結んだ交響楽団と演奏回や音楽講座などを新たに実施していくこと、愛知県と連携して半田芸術文化フェスティバルを新たに開催していくことなどを具体的な事業として位置付けております。

中川健一議員：新たな文化を創造するというのがよくわからないのですが、愛知県と組んで、どういう新たな文化を作るというのを想定しているのでしょうか。例えば、踊りとかお囃子を半田市の文化として全世界に広めていくとか特徴的なことがあるのか。単なる一般的なものを焼き直しにしているのか。前段のところの話だと、今までやってきていることを焼き直しているだけなのかと。愛知県と組んでやるのが多少新しいかもしれないが、問題はそれによってどういう文化を産みたいと考えているのか、それがあれば教えてください。

堀寄敬雄企画部長：その具体的なところにつきましては、先ほども申しあげたとおり5年間かけてやる事業ですので、その中でセントラル愛知等々話し合う中で、今回結んだ協定をベースとした新しい音楽関係の創造ができればそういった選択肢を取っていくことも1つだなという考え方であります。

久世孝宏議員：総合戦略や人口ビジョン、総合計画の関係性だけどういう風に半田市の中でおかれているのか、そこだけ教えてください。

堀寄敬雄企画部長：幸いという言い方がいいかどうかわかりませんが、総合計画も中間見直しの年であります。現在の第6次総合計画は、人口の伸びを見ておるようなところもあり、今回の計画の中での人口ビジョンや総合戦略で出されたいろんな方のご意見などを中間見直しの中でもしっかりと反映していきたいという方向性を持っております。

久世孝宏議員：例えば総合計画が上位計画であり、それに付随するものとして捉えればいいのか。全く別物として考えていかなければならないのか、その辺りはどうでしょうか。

堀寄敬雄企画部長：私たちの計画の中では、総合計画が最上位の計画であります。今回の計画はその下にある計画の一つであるという位置づけです。

3 パブリックコメントの実施について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

折戸富和健康子ども部長：資料に基づき説明

笠原健次水道部長：資料に基づき説明

小坂和正教育部長：資料に基づき説明

加藤美幸議員：いじめ防止基本計画のところでご質問します。いじめを防止するための様々な計画が出されていますが、名古屋での自殺事件を踏まえて、いじめを受けている側から発信するという点が欠けているように思いますが、その点はどうかお考えでしょうか。

渡辺昭司議長：お答えいただければいいですが、このことで意見を聞くという内容でパブリックコメントをしますという内容ですので、この事業をこういう風にやりますのでどうですかという質疑の内容ではないので、その辺は整理していただいて、もし仮に教育長が簡単にお答えできるようでしたら答えていただいて結構です。

加来正晴教育長：子どもからの発信を敏感にキャッチするということが最も大事なことでありますが、なかなか見抜けないというのが現実問題でありますので、一人で悩まず相談しましょうということを子どもたち同士がお互いに確認し合うということがまず大事。もちろん子どもの動きに対して、非常に鈍感な教員であってはならないので、地域も含めて敏感な大人であるように、子どもが何でも相談できるよう信頼される対象になる。子どもたちが居心地のいい安心して通える学校づくりを総合的に考えております。

4 矢勝川における渡り石設置工事について

笠井厚伸市民経済部長：資料に基づき説明

新美保博議員：参考資料3の平面図を見ると、矢勝川を狭めて渡り石を並べるとあるがそれでいいのか。2点目、環状線を記念館のところを通過するとき、かなり高いものになると、コメダのあたりまで環状線の影響が出る。橋を高くすることによって影響が出る。そこはクリアされているのか。3点目、1億1千万の工事だが、県の負担であって半田市の負担ではないだろうかという確認。

笠井厚伸市民経済部長：河川が狭まるかということですが、厳密にどれくらい狭まるかわかりませんが、大きく河川幅は変わらないと理解をしております。次に、環状線の影響はあるかということですが、矢勝川の河川に下りる部分に関しては大きな影響はないものと。視覚的には影響はあるかもしれませんが、矢勝川の川堤においては大きな影響はないものと考えております。費用の1億1千万に関して、半田市が負担するのかということですが、愛知県の事業として行われますので、半田市としては事業費の予定はしておりません。

新美保博議員：費用は県がやります。環状線の影響はありません。だからやります。川が狭くなるでしょう。そこに石を並べるということは、稗田川と矢勝川を一緒にしてはいけないけど、稗田川の親水性があるということで、ブロックを並べたことによってそこにゴミがたまり、水がオーバーフローすること分かっているよね。そこで支障となるのは、何か災害があったとき県が全部責任とってくれるか一筆交わしてあるかどうかだ。

笠井厚伸市民経済部長：一筆とっているかどうかまでは確認しておりません。県の方にも確認をさせていただきたいと思います。基本的には、この工事をするにあたって、県の方でそういったことも含めて検討されていると思いますので、問題がないかどうかは改めて県の方に確認をさせていただきます。

新美保博議員：もしそれが確認できなかった場合、(災害に)なってみなければわからないという話ではない。この確率は0ではない。もしそうであった時は、県が全部責任とってやりますから、半田市は心配しなくていいと言っていたらいいが。だから聞いている。

榑原康仁建設部長：数字で示しているものはないですが、矢勝川自体、確率年がかなり余裕があるんです。現状 30 年以上の余裕があるので、その中で十分こういったことをやっても問題はないというようなことはありました。

新美保博議員：30 年確率だとか 10 年確率という話ではない。今ゲリラ豪雨等があつてひょっとしたらそういうことがあり得る。渡り石を作らなくてもあり得るかもしれない。災害になったら誰が責任取るのか。そんなことならやめとけという話。市長、責任者としてどうなのか。

榑原純夫市長：明らかに実施していただく工事が原因でそういうことが起きたということが明らかになれば、当然愛知県に責任を求めてその対処も求めなければいけません。現状、建設部長からもお答えさせていただいたように、大丈夫であるとうことで数値的な報告も受けておりますので、そういったことで私どももいいだろうと思っております。万が一、そういったことが原因で洪水等が起きれば、もちろん愛知県に要求していく責任がありますので、そういった責任は私にあると思っております。

加藤美幸議員：飛び石を設置することについて、子どもたちが遊ぶときには何等かの指導はありますか。

榑原純夫市長：基本的には自己責任だと思います。

5 半田建設防災協会建設部会加盟業者による市道の路面点検及び修繕の実施について

榑原康仁建設部長：資料に基づき説明

中川健一議員：どういう意図があつて、このようなことが始まったのか。

榑原康仁建設部長：建設防災協会さんと話があつた時に、私の方から道路のそういったボランティアをしていただけないかという話をさせていただきました。そうしたら、近々に申し出があり、こういうことをやっていただけることになりました。

6 電子カルテ停止に伴う救急患者受け入れ停止について

三浦幹広病院事務局長：資料に基づき説明

新美保博議員：救急搬送患者の受け入れを原則停止しますというアンダーラインが引いてあるところ、すごくわかりにくい。原則停止だとほとんどの場合停止だと思う。上に、「以下の通り診療機能を一部停止します」はいいが、救急搬送患者の一部は受け入れるわけでしょう。心筋梗塞や狭心症等すごく心配になってきた。一部の人は受けるのに、なぜ「救急搬送患者の一部の受け入れをします」にしないのか。原則停止だと、全部停止と思ってしまう。停止を主にするのではなく、一部のみの受入れという趣旨にした方がいいと思う。

三浦幹広病院事務局長：申し訳ございません。こちら側の立場が強く出てしまったと思います。受ける側からすれば、こういう方については診ますと、これから周知しますので、診れない状況には変わりませんが、もう少しわかりやすくさせていただきます。

[その他]

・高齢者見守りメールについて

藤田千晴福祉部長：資料に基づき説明

山田清一議員：5年ほど前から大府市がやっているものを登録しているのですが、初めからなぜ半田市だけなのか意図がよくわかりません。その点をお願いします。

藤田千晴福祉部長：今回、登録区分もAとBで分けさせていただいて、まずAからやらせていただくということで、当初から幅広くということも検討させていただきましたが、知多、武豊、大府とか事前に進めているところもあり、サーバーもいろいろ使っているんで、今のような意見は当然中で議論させていただきましたが、とりあえず今回は半田市内と限って、まずは市内の方に周知して、そこから広げていこうと取り組みを始めたところでもありますので、その点につきましてはご理解いただけるようよろしく願いして、早々に広げていくよう対応を考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

・国旗掲揚について

新美保博議員：先日の市民マラソン大会の時、半田市、半田市教育委員会、体育協会主催のものですが、今までの開会式と趣を変えましたので、昨年ほどの開会式よりは増えていたかなと思う。あの参加人数に対して、開会式の人数の少なさはどうかなと思うが。去年までは、開会式の際に国旗掲揚と国歌斉唱があったが、今年はそれをやらなかったんです。なぜやらなかったのか、半田市はどう捉えているのか。今後もやらないのか。市長、国歌、国旗、市旗をどう考えているか。半田市としては、公式行事、半田市主催の市民マラソン大会をやらなかったというのは、理由と今後について教えてください。

榊原純夫市長：申し訳ありません。ご指摘いただいてそうだったなと改めて思っております。やはり、国旗、国歌は大事ですし、庁舎北側の整備にもきちんと国旗掲揚ができる場所も設置しますし、元々旧庁舎も南側玄関に、国旗や市旗を掲げようということでもありますので、来年からきちんと適正に対応してまいりたいと思います。今回は少しその点配慮が足りなかったこと、陳謝させていただきます。

新美保博議員：なぜ取り上げたかという点、今駐車場を整備していることで国旗掲揚塔を作るのか知らなかったんで、国旗を掲げるところすら作ってないならいけないから、もし今整備中に計画がないなら作ってほしいということだったわけ。

榊原純夫市長：きちんと整備するように設計されておりますので、ご安心ください。